京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●安奉線工事片錄

▲福金嶺の工事　鹿島組は現に工事に障碍ある河川の掘換へに從事し居れども未だトンネルにも着手せず多分來月中旬頃より着手するの運びに至るべしと云ふ

▲土工の着手　姚千戸屯と石橋見間なる西村組の作業區は愈々去る二十一日頃より着手し又姚千戸屯及び運河偃間の材料運搬に要する線路延長は之も亦十六日より開始す

▲大倉組の工區　石橋見、本溪湖なる大倉組の工事區は未だ着手するの機運に至らざれども某清國請負者は約五百名以上の支那苦力を使用して盛んにバラスの敷均しに從事し居れり然るにこは本工事に關係なく只だ輕便線の復舊工事に過ぎずと云ふ

▲本工事の苦力賃　本工事は割合に高價の請負なるを以て苦力も比較的高價に非ざれば其業に服せず目下一日約銀四十錢内外也

▲草河口の請負師　現に三合棧に三名宿泊して時機を待ちつゝあれども只其下請人に過ぎず秋木にも三四名の請負師入込み居る由なるが右は秋木鷄冠山間の請負者なり

▲本溪湖の景氣　日清人工事の爲め入込める者甚だ多く爲めに市場一般殷賑なり中には支那人の風を裝ふて至る者も少からざる有樣なれば當局も之れが注意を怠らざるものゝ如く約二十名の日本警官は此地附近を警戒せりされば目下は極めて靜穩なり

●本年の煙草情況

本年は概して移植期に於て降雨寡く爲めに例年に比して移植手後れとなりたり何分全國總體の調査未了の今日に於て精確なる産額の計上は出來難き殊に本年の如き上叙の事情あり迚も今より收額の豫想は意外の事なり大邱試作場も此頃やう〳〵採葉し燥乾に着手し同時米國種分も黄色法（加熱乾燥法）作業に附したるが成績の良否は尙ほ多少の日子を要す又た水原試作場も同樣の作業中にあるが其既作品を檢するに風味及香氣に於て多少の缺點あり畢竟するに是も全く空氣の乾燥に過ぐる結果にして尙ほ今後大に施設を具備し此等自然力に打勝つの法を講ぜざるべからずと最近同兩試作場を巡視されたる度支部荒井技師は語らる

●間島渾春間輕便鐵道

間島駐在の淸國邊務大臣吳祿貞は輸送交通の便を圖らんとし過般渾春地方を視察したる由なるが其結果間島局子街より渾春に至る三十餘里の間に輕便鐵道敷設の議を北京政府へ申請したりと

●沙河鎭五龍背間開通

過日來水害の爲め不通となり居たる安奉線沙河鎭五龍背兩驛間は三日より開通の見込

●金融組合と倉庫新設

金融組合に關する規定は一昨年六月の勅令を以て定められたるものなるが該條例中には從來の社還米貯藏に充てられたる倉庫を使用し得る筈なるも爾來韓内地は暴徒の出沒に依り憲兵等の地方に散在せる者多きを加へたるより右の倉庫は是等軍人軍屬等の宿舍に流用せられ爲に組合にては業務上の執行に關して支障を生じ居りしが今後は動産擔保又は委托販賣の業務を營む爲めに大に其必要を感じたるより今般新たに倉庫設立の計畫を立てたる由にて遠からず實行せらるゝならんと

●負褓商組合運動失敗

日戸氏等の奔走中なりし負褓商合同計畫は統監府等より補護金を引出さん目論見外れたる爲め行惱みの姿となり居れるが目下更に他方面に向ひ運動中なりと

中山大納言

第四十一席　桃川燕玉演

そこで式部は『何のこんな面白くもない江戸に足を留めて居ても詰らんから、宜しい是から一つ京都へ行つて公卿方に取入つて次第に依つたら德川の天下を倒し、王政復古の大事業を茲に立てやうと深く考へまして、江戸表を出立に及び、東海道筋をぶら〳〵と、諸所の名所古跡を見物をしながらやつて參りましたのが、丁度宮の海邊へ出ました、もうこれ程なく日も暮れやうと云ふ時分、式部考へたのは、七里の渡し拔船で行けば足は休まるが、どうも此頃ちと風が惡いから、荒れでもした日には始末にいかぬ、武士の急がば廻れと云ふ古い歌もある、佐屋廻りをしやうかしら、それとも桑名へ此處から渡らうかしらんと、腕拱いて海上の氣色を眺めながら考へて居りますと、『エー旦那樣、今晩は當宿へ御泊りのやうに御見受け申します、手前方へ御宿を願ひたう存じます、宮の桔梗屋でございまするぞうか、手前方へ御宿を願ひたう存じまする、振回つて見ると年頃三十許りになる旅籠屋の手代体の人物　式『其方は何だ　○『ヘイ熱田の桔梗屋の店の者でございます、此頃はもう誠に旅をなさいまする旦那樣が御少なうございまして、御泊りさんも誠に少なうございますから、御座敷は宜い間が幾らも空いて居ります、どうか手前方へ御宿を願ひ度う存じまする　式『泊つても宜いが、身共は桑名へ渡船を求めやうかさ、今考へて居る所だ　○『それは旦那樣御無用になすつたが宜しうございます、今はもう誠に陽氣の惡い時で、海が荒れましてな、それに此桑名の渡船は誠に惡い處で、風の惡い時にはならい目に出會ひます、まあ〳〵旦那樣、大して御急ぎでございませぬければ、惡い事は申上げませぬ、美濃の大垣へ御廻りになつて、あれから近江路をいらしつた方が御安泰でございまする、どうも今は暴風月でございましてな、動ともすると惡い風が吹出ますから、まあ旦那樣、御見上申した所御足もねらい御達者のやうで居らつしやるから、陸路をいからしつた方が御爲にならうかと存じまする　式『身共も其邊を考へて居つた、然らば兎に角貴樣方へ宿を申付やう　○『ハイ有難う存じます、御荷物は旦那樣私が御預り申します』大した荷物もでざいませぬが若い者が肩に掛けて先に立つて來た、宮の桔梗屋と云つて是は大層立派な宿屋○『エー、御客樣を御案内致しました　帳場に居りましたのが亭主の治平と申します者　治『これは御泊りで入らつしやいまするか、有難う存じます、嘸はや御疲れでいらつしやいませうサア旦那樣此方へ御上り遊ばせ……コレ〳〵早う旦那樣へ御洗を上げんかい、旦那樣を梅の間へ御案内を致したが宜しい』と頻りに主人が差圖を致しまする、式部足を洗つて頓て座敷へ通る、何しろ見た所が、竹内式部はどうも宜い人物で、自然と具はる權式は、何となく人を服しまする相貌、髮は總髮で鼻筋通り口元締り、殊に身裝も立派で、普通の士とは思はれませぬから、宿の亭主も頻りに鄭寧に扱ひまする樣子　式『コレ〳〵女共……　女『ハイ　式『此れは僅ばかりだが茶代だ、帳場へ遣はして呉れろ』とそこは竹内式部世事に馴れた人、若干の茶代を女に渡す、之を亭主の治平へ渡すと、羽織を引掛けて取敢へず主人の桔梗屋が、揉手をしながらやつて參りまして　治『ヘイ旦那樣、只今は莫大もない御茶代を有難う存じます有難く御禮を申上げます、御茶代を澤山に戴きまし……』と一つ事を二度も三度も繰返し、一調子張上げまして他の座敷へ響き渡るやうに禮を申します、是は此男に限つた譯ではない、何處の宿屋さんも茶代を貰れない客に面當にはざと大きな聲で禮を言ふ。と云ふのは昔の習ひ、今の宿屋にそんなのはございませぬが、扱茶代の効能は恐ろしいもの、主人の桔梗屋が『これヨ、○旦那樣を上段の間へ御案内をせんか……どうも昨今參りましてまだちつとも稼業に慣れませぬ、御粗末を申上げまして甚だ恐入りまする、さアー〳〵早う旦那樣の御荷物を上段の間へ持つて行つて、彼處へ旦那樣を御案内をしろ……』直ぐ座敷が變つた、來て見ると成程どうも床間があつて違ひ棚がありまして、疊も結構なら障子も襖も總て今迄の座敷とは大した違ひ、竹内式部風呂へ入つて軈て上る、直ぐ膳部が來た、食事を濟ませ、パクリ〳〵煙草を吸ひながら相手がないから考へて居ると、中庭になつて居る向ふに離れの座敷がございます、此處に家内の者だか客だか、男と女が居りまする樣子。折々聲が漏れまするから、竹内式部が退屈のあまり、聞く氣もなしにふと耳に入れました。



京城新報

移住者の心得

必ずしも惡癖には非ず

前の統監府總務長官今の肥料會社々長鶴原定吉君嘗て放言して曰く、韓國にある邦人官吏は其俸給が内地の倍額なりしを以て概して贅澤也議會が喧ましく言ひたる爲に五割增となしたれども尙彼等は依然として贅澤を續け居れり、全体在韓邦人官吏の俸給割增の趣旨は長く居据らして貯金せしむるにあり然るに實際は之に反對の傾向あり彼等が贅澤の惡癖は他日内地に戻りし場合には甚だ困難ならむ云々と、在韓邦人官吏の狀態は既に鶴原君の言へるが如きものならむ、其俸給は或は比較的多きに過ぐるものなしとせず、然れども之を以て必ずしも惡癖とは云ふ可らず、而して他日内地に歸りたる場合に此惡癖によりて困難せんと云ふが如き膨脹的國民の意氣を阻むものと云はざる可らず、若し彼等にして故國に歸るの時に於ては生活程度の異るが爲に困難するてふは鶴原君の云へるが如し、然れども是れ韓國に永住するの雄志なくして歸るが爲也然るに彼等にして韓國を墳墓の地とするの考あれば現在の生活を繼續して何等の困難をも感ぜざるべし、殖民地には殖民地の社會組織あり此に入りては其風に化するは素より當然也、之を以て必ずしも惡癖と斷定す可らず、要するに殖民地に在るものは官吏も移住民も皆永住の覺悟を以て何事も經營せざる可らず、僅々たる金を得れば直に故國に歸らんとするが如き者にては到底殖民地の經營はなし得ざる也、懷郷病こそ日本人の惡癖なりと云はざる可らず、若し夫れ斷じて故國に歸らずとすれば其所在地の風に化するも何の障りあらんや、余輩の望む所は官吏にせよ商人にせよ農者にせよ苟も足を其土に踏み入れたる上は永住するの覺悟を以て總ての經營をなす事也。

日本人の懷郷病は國民の膨脹力に支障を與ふ、見ずや布哇にカリフオルニヤに行く處の移民にして始めより永住の考を持するもの甚だ稀也、故に彼等は少許の金を貯ふれば歸心矢の如く忽ちに歸國す、然るに一度故國に歸るや始て其非を悟る、其生活程度の極て劣れる爲に移住地の優れるを思ふて再び移住す、玆に於て漸く永住の臍を確むに至る也、彼等が懷郷病に罹れる間は總ての事業腰掛的にして眞面目の經營をなさず既に永住の心なし所謂旅の耻は掻き捨主義を取る、勞び眞面目の經營なく從て德義をも顧ざるに至る也、之が爲に國力の發展を害すること甚だし、帝國の人口が年々非常の速度を以て增殖するにも拘らず國民の在外發展頗る遲々として進まざるも一は懷郷病の爲ならずんばあらず。

良草の繁茂せる良牧場に牛馬を移せば牛馬は忽ちに肥滿す、若し前の惡牧場に還らしめば直に舊の痩軀となる、鶴原君の贅澤云々は乃ち此惡牧場に還りたるときを憂るに過ぎず、寧ろ永遠に良牧場に飼養するの方針を取るを以て最上の策なりとす、是を以て余輩は移住者も官吏も總て懷郷病を起さずして永住の考を以て其經營を進めんことを希望するもの也。

桑港電報

▲渡米實業團体安着

渡米實業家の一行は九月一日シヤートルに着せり同地の歡迎殆んど熱狂せん許りにて非常の盛況なり一行は二日商業會議所の晩餐會に臨むべし（二日着東京經由）

東京電報

▲本年の稻作豫想

農商務省の調査に係る本年の稻作豫想は五千四百二十九万千七百五十二石にして之を前年度に比すれば四步五厘又平年に比し一割七步三厘の增收なり（二日午前發）

▲大浦農相の奏上

大浦農商務大臣は本日參内二百十日の天候及び各地被害狀況に關し闕下に奏上する所ありたり（同上）

▲二百十日の天候

二百十日の天候に關し内外各地より中央氣象臺に集まりし報告左の如し

臺北晴、鹿兒島晴、高知曇、大阪曇、東京晴、新潟雷雨、函館雨、根室曇、大泊曇、仁川晴

其他各地共平穩無事に經過せり

▲新代議士の當選

長野縣に於ける立川代議士の補缺選擧は上柳喜右衛門氏當選したり（一日午後着）

▲高平大使の歸朝

駐米大使高平小五郎男は本日橫濱に着せり（二日着）

雜報

●模範的の灌漑工事

（太田黑度支部技師談）

水利組合によりて水利灌漑の工事を起せしは實に密陽を權輿とす同工事の素因は同地方に於て松下定次郎なる人最初灌漑の爲一昨年の事となりき水利溝渠を造りたるに濫觴す當時は單に自家用所有田にのみ水利の便を開き約百町步の水田に灌漑せり然るに地方人は眼前に松下氏の經營を實見し其利を曉り松下氏の經營を基礎として共同享利の議を企て種々交渉を經たる末遂に協定成立して一種の水利組合を設くるに至り松下氏の經營は全部組合に讓渡すこととなり其後漸次工事を擴張し昨年來大に面目を一新して水利灌漑を完全ならしむると同時に一面高地より流下する山水の排泄をなす設備をなしまた一方進面洛東江に對する横溢被害を防遏の爲め築堤工事をなし此工事は本年の雨期に先ち大急速に竣成せしむるを期したる爲め本年は昨年に劣らざる洪水なりしにも拘はらず終に洪水の厄を免かるゝを得たり以上の設備によりて當初松下氏が自家用地百町步の灌漑を爲すに止まりし工事は昨年に至り二百五十町步を灌漑するに至り尙は百町步の未灌漑地あり掃秧金からずして約二萬圓の損失を來せしが本年度は排水、水利、堤防の完備せし爲め殆んど理想に近き全美を得四百町步の耕地を灌漑して玆に全く全方面の農事經營を完成するに至りたり同工事の仕樣は水道布設の徑路に隧道、木渠を有し又堤防も備はりたる經營にして同事業の標本とするに足るといふも過言にあらず而して隣近の同村其利を現實に知り得て漸く之に依らんとするの念を誘發したるは所謂百言一行の效益を顯著ならしめたり尙は最後に云ふべきは以上の工事費は勿論農工銀行に仰ぎしものにて農工銀行の効用空しからずと云ふべし

●湖南線と太田鳥致院

湖南線に於ける太田と鳥致院の價値を比較するに太田線は延長に於て短距離なる代り工事も仲々に難工事なり之に反し鳥致院線は工事極めて平易なる代り錦江架橋てふ一大難工事の不利あり要するに鐵道百年の大計上兩者一長一短を免かれざるも只貨物の豐饒なるは鳥致院の優るものあらんが目下兩地殊に太田人士の同線に對する熱狂は絶頂に達し運動さゝ〳〵怠りなく運動機關も比較的備はり居れり鳥致院は幾分天然的良地を占むるもの〻如きも居留邦人の數少數なるを以て運動に於て遙かに太田に劣るを以て或は勝を太田に[illegible]るゝに至るなからんか而してもし鳥致院を以て起點とせらるゝことあらんか公州の繁榮は自然に同地に引かるゝものある等太田の死活に關する問題たるべし云々

●烏港對淸津貿易關係

米山淸津稅關長の談に據れば淸津の發達は烏港を刺激し閉鎖港の一部ボセツト灣を開放せんことを露國政府に出願中なる由從來ボセツト灣に水揚せる物資は烏港貿易額七千万圓中二百万圓を示し此の地點の特別扱は日露貿易の上に多大の効果あるべし其の外通過貨物申告受授期間の一週間なりしを中間に種々の條件を設け之を二箇月に延期し通過貨物の吸收に努むる等對淸津港の方略に苦心せるもの〻如し淸津より滿洲各地に通ずる物貨の輸送は多くは馬背に依る其の駄馬の輸送力は南滿鐵道の輸送力と競爭せるほどにて中々侮り難きものあり云々

●密使事件張本人來る

例の海牙密使事件の張本人と噂されたるハーバートは一昨夏事件發生後杳として其消息を暗まし居たるが去る卅一日一人の韓人を隨へ突如として京城に來り直に西部貞洞在住のメソヂスト宣敎師デーエーバンカー氏邸に入れり密使事件に依つて韓人の一大怨恨を購ひたる彼が再び韓國の天地に現はれたる理由に就ては韓人間種々の取沙汰あり或者は故ベツセルの後を承けて大韓每日申報を經營すべしと傳ふるものあるも容易に信じがたし因に彼は京城に多額の財產を有し居れりと

●本年度追加豫算公布

隆熙三年度歲入歲出總豫算追加の件左掲の如く裁可公布せられたり

歲入臨時部	
公債金繰入	金二百五萬圓
前年度編入金	金二万圓
計	金二百七萬圓
歲出經常部	
慈惠醫院支出金	金二萬五千九百十三圓
歲出臨時部	
慈惠醫院設備費	金二万一千圓
金融組合資金	金二萬圓
韓銀貸付金	金百二十七萬圓
韓銀株引受金	金七十五萬圓
韓銀創立費繰替	金三萬圓
計	金二百十二万六千九百十三圓

●鶴原氏の物語り

前の統監府總務長官鶴原定吉氏は二六新聞社員に左の如き談話を爲て居る

「韓國に赴任して居る官吏は概して奢つてるよ、最初は内地の倍額であつたが議會で矢釜しく曰はれたり坏して本年の四月から五割增に改められた、それでもまだ餘程多いもんだから彼等は依然として贅澤を遣つてる、氷杯を始終買込んで總てのものを冷して居る、こんなとは迚も内地の官吏では出來ない、割增の趣旨は長く居据らして金を溜めさすと曰ふにあるのだが、實際は之に反對の傾向を現して居る、惡い癖を附けると内地に戻つて困ることは定まつて居る、まあ朝鮮杯は長く居る處ぢや無いよ、僕が御免蒙つたのを、伊藤統監と喧嘩でもした樣に思つて居る連中もあるやうだが、始めから統監在任中と曰ふ約束で往つたのだ、處が存外統監の在任が長かつたので、意外に感じたやうな始末さ、今五六年も經つと京城あたりは内地の師團所在地よりは遙に善くなるだらうな

●土地整理試驗的着手

韓國土地調査事業開始に就ては殆んど行惱の姿となり之が爲に其前身ともいふべき臨時財產整理局は局員擧つて無聊閑散に苦み恰かも俸給の只取りてふ有樣なるが斯くては數百の吏員をして益々惰氣に陷らしめ一朝事業開始の曉に至らば其進行に多大の影響あらんが廣れ整理局豫算殘餘を以て京城市街及び其附近の測量を開始し試驗的に着手し居れりと云ふ

●慈惠醫院の豫算公布

既報の如く慈惠醫院特別會計豫算決定本日の官報を以て公布せらる則ち左の如し

歲入	
政府支出金	二五、九一三
醫院收入	二、二五〇
設備費政府受入	二一、〇〇〇
計	四九、一六三
歲出	
慈惠醫院費	二八、一六三
設備費	二一、〇〇〇
計	四九、一六三

●度量衡擴張と豫備金

昨紙所報の度量衡擴張に要する經費として一萬六千九百三十七圓を豫備金より支出の件裁可公布せられたり

●平壤水道と給水規則

平壤水道の給水規則は目下制定中なるが近く成案の上發表さるべしと云へり

●萬壽節と陳賀の權停

來る八日は萬壽節に相當するも文武百官の陳賀を權停する旨宮内府より發表さる

●鑛業權の廢許者

韓國鑛業法に依り鑛業の廢業及び許可の指令を達せられたるもの左の如し

廢業		
金銀鉛鑛	黄海道瑞寶郡	松井民次郎
鉛鑛	忠淸南道定山郡	力武善七
同	同	同
許可		
金銀鑛	平安北道朔州郡	張輔衡外一名
金鑛	同碧潼郡	劉天涉外二名
金鑛	同朔州郡	小川光三外三名
金鑛	咸鏡南道定平郡	木村宇一郎
黑鉛鑛	平安北道朔州郡	加納竹藏
同	忠淸南道公州郡	朴光欽

●典當規則の制定

目下編纂中なる典當規則は其の内容は大体に於て日本法規と大差なく唯だ其取扱を簡單にしたるものにて成案の上統監の認可を受け發布の筈なるが多分來春に至り發布せらるべしと

●發賣及頒布禁止

米國布哇發行新韓國報第二卷二十三號同桑港發行新韓民報第百四十四號露國浦鹽斯德發行大東共報第六十二號は何れも治安を妨害するものと認められ内部大臣より其發賣頒布を禁止せらる

●宣政殿修理着手

仁政殿と玉座との中間にある宣政殿（青瓦）は今回内謁見所に充てらるゝことゝなりたるを以て修理に取掛りたるが十一月中に落成の都合なりと云ふ

●韓銀株應募者注意

韓國銀行の株主募集は非常の好況にして日本内地の應募は少くも數百倍に達すべく韓國内の分のみにても數倍に達する模樣なれば應募せんとするものは六日午前九時取扱開始と同時に早々申込をなさゞれば何時切となるや計り難しと云ふ序に株式申込證用紙は各取扱店に備付あり何時にても希望者に交付するに付望の者は豫め右用紙を受取り株式記入等準備をなし置くを便とすと

●商船郵船兩社の競爭

大坂商船と日本郵船との間に韓國、大連、天津、臺灣等苟くも兩者同一の航路は運賃協約を締結して利益を壟斷したるは釜山の日韓貿易會社の如きは憤慨して別途汽船會社の創立を企てたるも遂に實行に到らざりしが鐵道院に於て是れ等と大競爭を爲すに到りたる爲め京城、平壤は愚か新義州行貨物迄も鐵道院船が一手に獨占せんとするの現象を呈したるより大坂商船は玆に考ふる處あり是れを挽回するには郵船との提携を破棄するに如かずと爲し其旨郵船に申入れたるに郵船も同意見なりとて遂に兩社協約破棄は疑なく成立せり爲に韓國航路の運賃は見る〳〵崩落し昨今は五割下げとなりて大連航路も同樣の狀態となりたれば此方面の輸出入業者は兩社競爭の長引かんことを希望し居れるも再び此頃兩社の提携色めき來れりと云ふ

●日韓瓦斯工事の近況

日韓瓦斯電氣會社の瓦斯工事の近況を聞くに同工事は京龍間を四區に分ち工事を急ぎつゝあり今日迄の延長は既に約三十哩に達し一日の埋沒延長は平均瓦斯管五十本（九尺物）即四百五十尺なり工事は全体に於て豫定の如く進捗しつゝあれども南大門稅倉庫附近は岩盤を開鑿するとて意外の難工事にして目下人夫を督して竣成を急ぎつゝあるも尙は一週日を要する見込なり尙は工事延長豫定の四分を竣成せば殘餘の六分は京城龍山兩民團に交渉を要する點あるを以て交渉解決に至る迄工事を中止する都合となるべし而して全部工事を完了して瓦斯の供給をなし得るに至るには尙ほ多くの日子を要すべく來月より營業開始の豫定なるも或は本年一杯を要するやも計られずと

●瓦斯引用申込の狀況

日韓瓦斯の瓦斯申込狀況は一般に氣受よく豫定以上の好成績を收めつゝあるも厨房用として不慣の向多き爲め需用殆んど尠少なれども此地の如き冬向燃料高き地に於て燃料を節し得るのみならず手間を省き殊に勝手元の不完全なる今日の借家に於て煤烟に燻はるゝ不愉快等を避け得らるゝ至便を解するに至らば漸次瓦斯引用者の數增加すべく是より多期に向ふと共に頗る好望なりと

●長崎滿韓視察團延期

長崎商業會議所の發起に掛る滿韓視察團滿洲各地虎疫流行其他の事情により來る十月中旬迄延期することゝなれりと云ふ

●度支部大臣統監訪問

久しく病氣の故を以て自邸に引籠り居たる度支部大臣任善準氏は昨日統監邸に曾禰統監を訪問し長時間に亘りて密談する處あり

●宮内府廳舍の落成期

昌德宮内に新築中の宮内府廳舍は十月下旬に落成し十一月中に移轉のことゝなるべしと

●朴内部大臣の群山行

内部大臣朴齊純氏は來月中旬全群車道落成式に臨場の爲め出張すべしと云ふ

●雜誌朝鮮九月號

發刊せらる韓國に於ける雜誌界の覇者たる價値は譩にありて編輯は號を逐ふに從ひ完備し來る、本號の讀物は例によりて時事評論最も面白し京城の浪人界は浪八組を遺憾なく評せらる其他論說研究高源文藝等皆一讀の價値あり雜纂の新聞社編輯室のぞきに至りては最も面白く聊か恐縮の至りである、風聞錄は寸鐵的にして年毎度快讀す（發賣所日韓書房）

●動物園の落成期

落成の上公開せらるべき動物園は孜々として工事を急ぎつゝあるが本月中に落成の筈にて公開せらるべく通用門は大韓醫院正門前に設けらるべしと

●暑中休暇の延期

韓國側諸官衙は九月一日より午後四時迄開廳の筈なりしが大臣會議の結果尙は一週間半休のことゝなれり

●榊原隊長の招宴

新任憲兵隊長榊原少將は一日統監府及同所屬高等官韓國大官等を花月樓に招待し新任披露宴を張れり

●生田書記官歸任

鄕里德島へ歸省中なりし生田農商工部書記官は一日夜歸任す

●岩佐理事の歸任

豫て上京中なりし拓殖會社の理事岩佐程藏氏は一日夜歸任す

●正誤

昨紙所載光濟號の出帆と題する記事は事實相違なりしを以て玆に正誤す

公人私人

▲田結鉚三郎（慶南觀察使書記官）一日入京山本

▲下田文吾（鐵道院技師）同京城ホテル

近事片々

▲日韓●● 關係の事蹟を編纂する事となり伊藤公其總裁となる蓋し是伊公の發意ならむ

▲而も● 特に編纂局を設置し委員數名を撰定し以て其編纂に從事せしむるとは聊大仰

▲編纂● 事項は兩國帝室の關係より政治軍事地理歷史財政經濟風俗民情等を網羅すと

▲伊公● は由來華麗政策を喜ぶ此編纂も亦此點より來る畢竟是れ公の事績表章たらむ

▲惟ふ● に日韓關係事蹟の編纂は今少し事績の擧りたる後にするも敢て遲からざる也

▲併し● 公の胸中には猿公何ぞ用ふに足らむとの自惚あり故に此事あるも蓋し當然か

▲後藤● 遞相は韓國鐵道視察の爲十月中旬渡韓の事に決すと此視察は最も重要ならむ

▲視察● の目的は滿韓鐵道統一の爲たるや明也現在の所にては此統一は最も急務とす

▲鐵● 近頃視察に忙はし所謂南船北馬併し韓鐵に就ては最も細密の視察を要する也

▲若し● 夫れ韓鐵にして鐵道管理の下に就かば或は一新面目を發揮するに至るべきか

▲間島● の主權讓步鐵道布設權の保留は之ぞ捨名取實也外交は常に此心懸けが肝要也

▲併し● 是れ小村の卓見に非ず詮方なしに此策に出づ畢竟是れ紛れ當りの功名ならむ

▲統監● 政治杯の施設も此筆法によるを可となす然るに事往々之に反する傾向は遺憾

▲布哇● 在留の邦人上野總領事の措置に不滿を抱き長文の電報にて外務省に訴へ來る

▲上野● 領事の措置は頗る冷淡なるも獨上野のみならず在外官憲の措置多くは此類也

▲極力● 自國民を保護する獨米英等の領事とは雲泥萬里の相違あり是では邦人發展

▲前の● 總務長官鶴原曰く肥料會社に入るはパンの爲パンさへあれば政治道樂出來る

▲斯る● 社長を頂く株主こそよい面の皮總務長官時代も此筆法か内務は總てこんな物

▲昨春● オコツク海に出漁の帆船暴風の爲に一の無人島に漂着す此頃漸く歸國せりと

▲此無● 人島には膃肭海豹群をなし容易に捕はる北海道利多し行け神州の冒險男兒

●梅ケ香丸の釜山着期

帝國義勇艦隊艦一船梅が香丸は愈々四日午前八時門司港を出帆し航程七時間にて同日

薩摩丸と大差なきを以て多分棧橋に着くるに至るべく府は招待狀を發せし向へ對しては五日午前中又た一般へ對しては同日午後

覽せしむべしと云へり

●京釜沿線の出穀頻繁

本月に入りて米價の上向きし爲め各地其

日迄釜館より一萬一千、慶山六千、大邱七千計二万四千叺これを詳細に計算せば或は三萬叺以上に達せるやも測れず而して此向

親衞府長官の本俸は二千圓にして外に手當として年額二千圓支給の件公布せらるゝたるが右は宮内大臣俸給及其他の下調等合計一

く特別手當支給に決定せる次第なる由

●パコタ公園内の演奏

暑中の爲め休止中なりしパコタ公園の音

●水害地視察

内部武藤事務官同社寺課長宋書記官は平安道水害地視察の爲二日本日京城出發往復日程一週間なり

(三)　第二百四號　（金曜日）　京城新報　明治四十二年九月三日　（日刊月曜及祭日翌日休刊）



●上中下三人亭主

▲亭主の留守に女房の轉賣　仁川松林洞居住金儀辰(三〇)と云ふは今を距ること五年程以前同村内の崔某の娘が日本人の自慢にする小野の小町に勝るとも劣るまじき容貌美しなるにテンと打ち込み獨木舩に足を附けた樣な足駄を穿いて首つ丈け狩り込んでは矢も楯もたまらず厭といふのを無理に拜む樣にして貰ひ受けたる後は嫌るやら撫るやら話るやら目も鼻も一緒にしての大恐悦にて一家安穩天下泰平を歌ひ居たるも束の間一日の事夫れ程にして貰ひ受けたる戀女房を殘したるまゝ突然行衛を晦ましたるまゝなりしが此の程に至り又ニヨッコリ歸宅したる所戀しの女房が居らぬより仰天し知人に就て其仔細を糺したるに同人が行衛を晦ましたるまゝ音も沙汰もなきより妻の父某は金の留守中最早歸らぬ者と思ひ金谷洞崔圭成(三〇)と云ふに金十六圓に賣り渡し三年間も同棲し居たるに此程圭成は又もや此を仁川敷島樓の雇人林聖三(二六)なるものに矢張り元價の十六圓にて賣り飛ばしたる事判明したるより金は又吃驚其の足にて直樣林の所に押し蒐け女房取戻しの談判を開始したるも林も元より好いから買ふたものなれば何條默つて渡すべき遂に仁川警察署を煩はし其の判決を受くることゝなり前記上中下三人の亭主連は崔召史を中に取り圍み一昨日午後仁川署に出頭し前記の次第を述べ裁判せられたき旨願ひ出でたるにぞ詰合の警官も只馬鹿〳〵しと笑つてのみも居られず一應取調べの上林聖三の身元確にして肝腎の嫁御崔召史も林聖三が一番好きですと恥かし氣もなく言ひ放ちしより金德長は泣き面抱へて引き下りたりとは可笑しい

●唾棄すべき下流家庭

▲れ寺ハ坊さんが仲裁　永樂町三丁目二十四番戸山口縣平民青山初代の長女茂(二十)母子は四年前より龍山榮町番地不詳饂飩業守谷長治方に世話になり居りしが茂は長治の口車に乘せられ遂に同人の妾となり小供迄出來しが此の頃に至り漸く慘酷なる待遇を受け小供を生みて以來は長治の本妻某よりは益々可酷なる取扱ひを受け同家に居るに忍びず遂に一週間程前親子共に同家を遁れ出で當地に來り前記の所に一戸を借り隱れ居りしが爾來長治は其所在搜索中の處遂に隱家を探知し長治の雇人たる島田利三郎及其の養子數雄の兩人をして一昨日午後十二時頃夜陰に乘じ茂を連行かんとするにぞ母親初代は南部署へ此の旨訴へ出で説諭方願ひ出でたれば一同を呼び出し説諭を加へ尚ほ此の上とも不穩の所爲あるべからずと諭し其の夜は一先づ引下りたるが初代の本夫なる旭町二丁目護國寺に居住する青山慈啓が長治と交渉を遂げ一時茂を引取る事に決したりと

●泥棒に加勢す

大阪市北區老松町二丁目一二〇番戸當時京城本町六丁目森田次郎方同居吉田源次郎(二八)は南大門内司畜洞四十九統三戸自轉車販賣業金容鎭方より自轉車を乘逃し姿を隱し居りしが去る一日午後十時頃金容鎭は北照義門通りを通行中前記吉田に出會ひしかば共に派出所へ出頭すべしと迫りしに自分が今朋友の家にて金を借り辨償すべければ共に來るべしとの事に金は之に從び太平町迄來りしが吉田は同町の小路へ逃げ込まんとせしより金は逃さじと互に揉み合ひ中日本巡査及韓人刑事が通り合せ協力之を取押へんとする所に龍山元町二丁目四十一番地土木業坂田一助(二七)なる若者が來り之を遮り韓人巡査の胸部を捕へ腕を捻じ横腹を蹴飛し吉田を遁すべく幇助せる内北部署の刑事が馳け附け遂に兩名を取押へ引致す

いはく集

▲曾禰統監曰く　日韓事蹟の編纂が外の奴に賴めるか
▲伊藤公曰く　河豚を喰は皿までもだ
▲鶴原君曰く　肥料を喰ふ巳れは製糞器には優しだ
▲落合元馬政官曰く　自然主義の流露は馬のみの特權に非ずだ
▲長濱盛三君曰く　南船北馬の語味が判つた

●釜山近海の鳴響

去る三十一日午前四時四十五分頃釜山に於ては地震かと思ふ鳴響あり高所に在れる家には其棚より物品の落ちんとせしもあり夜の明け放れたる折なれば多くの人は地震とせしもの多かりしが同地測候所の報ずる所によれば同音響は全く同地近海に起りたる鳴響にて地震計に實動を來たさざるを以て證するに足れり其時間は三秒時間なり鳴響するものは海と海との間に在る岩石に激浪の打ち附けたる響きにて韓國に之を聞くは未曾有の事なるべし其後何等の異動を來たさゞるを以て別段心配するに及ばざるべしと

●滑稽妾の取持ち

南部南羅竹洞方姓女(三)及同人女娘金於智仁(十四)の兩人は同洞三十四統四戸畫師金哲仁(三二)方へ同居し居るものなるが金哲仁は金於智仁と情を通じたるより母の方姓女は金哲仁に娘を妾となし呉れよと云ひ入れしも應せざるより其の筋へ届け出でたれば双方を呼出し説諭の上金哲仁は於智仁に引取り妾となす事として引下りたり

●科料一束

山田町二丁目四十一番戸人力車營業兵庫縣平民小川千代吉(三二)は八月二十九日來自巳所有の人力車を無鑑札にて韓人に挽かしめ科料一圓に△北米倉町三番戸飲食店大分縣平民園内みね(二七)は八月二十九日午後十時二十分化粧したる雇女二名を店頭に出したる廉に據り科料五十錢に△旭町一丁目十一番戸印刷業大坂府平民福田正治郎(二六)は八月二十七日午前九時頃營路に塵芥の散亂せるを以て掃除を命じたるも應せざるに據り科料三十錢に△明治町一丁目牧野方雇人熊本縣平民曾我宗平(三六)は八月廿七日午後三時四十五分同町の街路に荷を置き交通を妨害せしに據り科料三十錢に△永樂町二丁目八十七番戸烟草商山口縣平民桂民武(一八)は八月二十三日午後五時二十分本町一丁目の街路に行商用荷車を横へ交通を妨害したる廉に據り科料三十錢に△旭町一丁目二百三十一番戸氷商廣島縣平民松浦信太郎(二六)は無免許八月二十三日來古物行商せし廉に據り一圓の科料に何れも南部署にて處せられたり

●捜物はヨボが着用

櫻井町二十七番戸溝口政登は本年七月廿日頃縮緬竪縞のシャツ一枚を洗濯なし自宅の壁に繩を張り之に乾し置き午後二時半頃取り入れんとせしに該品の見當らざるに風の爲め吹き飛ばされしには非ざるやと附近隈なく捜したるも遂に見出さず其の儘になし置きたる處本月一日午後二時半頃一人の韓人が其のシャツを着用して通行せるを發見せしかば呼び止めて如何にして得たるやを取調べたるに夫れは知らぬも自分は南部院洞居住閔元植(三二)にして妻尹姓女が着用すべしと云ひ出し呉れしを以て妻は豫て日本人の依賴を受け洗濯をなすものから多分日本人より貰ひしものなるべしと考へ着用せりとの事に溝口は此旨其の筋へ届け出でたれば閔夫婦を呼び出し取調中

●素見客水浴せらる

南大門通り一丁目裁判所官舍建築所山口縣人大工職溝部友助(二八)は一昨日午後十時駱駝洞通行の際韓人淫賣婦金順天(十八)より汚水を散き掛けられたりとて大に怒り同女を拉して訴へ出でたれば係官が之を取調べたるに溝部は毎夜の如く同所の淫賣屋を素見かし同夜も同樣素見しに來り他客の妨害をなすより之を追ひ拂はんと水を撒きたるが過つて同人の衣服に掛りたるものと知れ双方説諭され引き下る

●甚助野郎の亂暴

仁川木村組雇人牧田松藏といふは一昨日夜友達二名と共に猫島に至り瓢亭に登樓酒肴を命じたる所仲居の待遇惡しかりし爲め腹を立て他の二名と共に亂暴を働き器具を破毀せんとしたれば無止警察官の出張を煩はして漸やく鎭まりたるが松藏は將來を誡められて放還せらる

●暴行の韓女はキ印

住所不定李姓女(三八)は一昨日南部會洞邊の街路に於て亂暴を爲し通行人に妨害を與へ居るより巡回中の巡査が南部署へ連れ行き取り調べたるに全く發狂せる事判明し身寄りの者を呼び出し引き取らしむ

●朝鮮敷島の梅

仁川朝鮮敷島韓妓の檢黴は一昨日午後勵行せられたるが總員四十六名の中二名は病毒の爲め不參したる外洗滌を要するもの三名ありたりと

●拾得

仁川仲町三丁目糸岐方富永友吉(十四)と云ふは一昨日午后五時三十分頃仁川海岸にて腰下ヶ用眞入一個を拾得し屆け出

●高田家の開業

南大門横手の和樂園内に高田家と云ふ料理屋が開業された、同園は多種の樹木林立し桃林あり松林あり盆栽室あり溫室の設備もありさては稻荷樣の祠まで出來て居る其中にて此高田家が頗る手輕の料理を調進すると同時に樂器や薫品室迄を設へ居れりと云ば家族同伴杯で一日の清遊を試むるも妙なるべく其他別に大廣間もあれば各種の集會も出來得べし尚ほ高田屋にては開業披露として一昨夜知名の士五六十名を招待して洞宴を張りたりと

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判斷

九月三日四緑舊七月十九日先勝丙寅やぶる
△一白　權利の屈せらるゝ事あり紛爭に付きては和談示談を可とす鼠賊遺失注意すべし△二黑　共同組合其他密通關係に於て衝突破綻起り易し收利收益は多き日とす△三碧　競爭排濟に遇ふあり火元留意すべし△四緑　不平怒恨の念を燃し易し抑制すべし細瑾より大効を破る△五黄　論爭喧嘩を戒しむ妄に疑心妬心を挾むなかれ△六白　期せずして人と會合するあり痴情の難みわり△七赤　保證世話事を愼しむべし旅行轉住凶△八白　事不得要領に了れば新事見合すべし上たる人より咎め疑に遇ふあり△九紫　盛運の日なり多少の投機的欲望も的中することあり右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

▲同人でも私怨を以て他人の私行非事を訐く、と云ふことがあるとすれば夫れは無論惡いことであるが爲政者が己れに快からざる者に對し官府に與へられたる權力を濫用して威壓を加ふるが如きは更に一層の惡事と云はねばならぬと思ふ(人の子)▲高等官及紳商連の信用程度を知る材料として戸籍謄本を何新聞でも善しいが紙上に發表して下さらんか(取引商人)▲如何に韓國側の役所に奉職して居るから云ひ條同じ日本人間の應酬得に隆熙何年何月何日と書すが如きは夫こそ日本魂を喪失したる態度と云はねばならぬ九月二日發行の貴紙に見へたる酒光何某の取消文の如きは即ち夫れだ(ほへと)▲恐は猶ほ誨ゆべし痴や導くべからず(巴)▲本町五丁目の淺野と云ふ野菜罐詰類商の家では店員四人昇給を強請して容れられず故を以て目下同盟罷業しつゝあり(御注進)▲太儀々々、然りながら別段國家の大問題にもあらねば聞き置く迄に止め置く(係り)▲本町七丁目の末樹樓主は妻の某が肺病にて永らく床に就いて居るので其の病氣看護の爲めに來て居る妻の妹に手を附け初めの間は内密であつたが今日では病人の妻の手前も構はず巫山戯散らして居るので病氣は益々重る計りホンニ傍の見る目にも憐はしい(近所の女)▲一日の夜八時半頃花月の前を通行しようとすると人力車馬車等で充塡になつて居て通れゝはこそ査公の二三人も見へたが道を開いて呉れ相にもない迂闊なことを云つて彼所の通路が花月の私用通路でゝもあつたら大變たで大和魂を有する日本男子の面汚し野郎奴と思ひながら廻り道して用を辨じた記者さん彼所は花月の私用通路ですか(通行人)▲大和魂を以てれ答へする、然にあらず彼所は御用宴會通路と申せば苟も宴會あらん日や夜は平民の通行は恐かなこと蟻の子一匹通すことは罷りならん規定で御座るは怒る貴樣が可笑しいぞ、夫れとは嘘さ、其樣皮肉は云ふものでない夫れが平民の僻みと云ふものだ、とは云へ苛められると僻みも起る無理はないがね(小僧)

日本官製烟草景品本日警察官及各特約店立會抽籤の結果左の通り

第一等　四一二九
第二等　一七九　一六二六
第三等　五七三〇　一六九二一　七五四　一八六八　一七六五
第四等　二二二八　八九　三七三
第五等　二〇三七　六六七　二二五一　二八七八　二二四七　四三六五
第六等　四九五三　一八二四　一六七六　六二四　一六五四　四三八七　五一六五　四九八〇　五一九七　三三一八　一五三二　四七六四
二〇　三五〇二　二四〇五　三七七〇　五〇七三　二五八五　三四五七　一七八三　五九七八　一四　二七四六　三一〇〇　三二九一　三六九三　九三一　二二八三　二七六　一四九一　四五九四　三四七九　五八六二　三八五　一二一八　一〇九二
二二七三　四六五二　一六八三　四七八三　一五七　三一七二　二〇七五　三五三三　五七二二　五一八一　五九九五　三三八七　五九二　一二五三　三四六八　二七八九　五八二三　三六六四　九五六　五五四二　二九一九　三三四七　三七九七　一二四七
五五七九　一五三一　三六七四　九〇三　五八七八　一六一〇　五二四二　五九七九　五四七　一三〇二　四七六七　三四一　一八六一　一七〇　二〇四三　三四二四　二五九四　二三五一　三二一七　一三四〇　四二一　三二八　一五八七
四七九八　二三八七　四九五七　一六四　四八一九　三九九六　一一六三　一九七八　二五一四　四三〇二　九一〇　六八七　五〇一九　四三〇　三〇〇七　一四一四　一七二二　五六六五　二五四〇　五七三八　一五八六　一二七五　四二四六
二一九九　二一三二　一六四一　四八三二　二一三五　五三四　一五四九　八五九　四九七五　一二〇四　五七五二　二五一六　四七一一　三八八四　一七五　三九三七　一三五五　三六四〇　四四一七　五四三一　六〇四　五六三六
三四六三　七四三　五六七一　四九七七　六六八　八二四　一一七一　八五二　五六九六　一四七五　二二八六　一〇三　三〇三〇　二三二六　三四〇〇　九五〇　四九一五　三九　三二七七　四一一四　三九六　二九七二
二七〇九　一二九　一五二九　五五五二　一七〇二　三〇五九　五七二一　一九八一　七三五　三六四四　一七二九　四一二三　一五二一　四七〇三　三一八六　五三七〇　一二四六　三一一　四六一五　二七七八　二七二五

右番號の外は凡て七等とす
九月一日
東亞煙草株式會社韓國總販賣所

▲無料紹介欄▼

人事部

龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社(四三三)

●酒仲働 配偶者ある二十六の女精淨なる家庭の仲働又は針女に雇はれたし但給料八九圓を望む 氏名在社(四二五)

●被雇度 普通教育ある二十八の男一定相當の職業を授けらるゝ仁人君子に遭逢したし但會計事務簿記方などに雇らるれば尤妙 氏名在社(四二六)

●求人 外勤事務員採用午後四時より來談あれ 京城相生町一六南門館 波多野

●求職 年廿五内地商業學校教員奉職中の者清語及商科一般の智識あり會社商店若くは官廳に雇はれたし 氏名在社(四二七)

●下女入用 廿歳前後の下女入用希望者は本人直接來談あれ 龍山停車場前大陽館

●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社(四三一)

●覓藥局生 年廿東京に於て經驗有大和町一の八八浪花湯不治元迄御一報次第參上

物件部

●求宅地 官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし 京城旭町一丁目五十三ノ四 安藤

廣告

●新聞料 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲一ヶ年前金…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲…
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 久神一馬
發行所 京城新報社 京城西…門通 電話六…